

アチエメックの風

あいち小児保健医療総合センターだより



第65号

令和7年 冬 発行

●発行●

あいち小児保健医療
総合センター

診療科トピックス

集中治療科

東海3県唯一の 小児救命救急センターのPICU

今回は集中治療科と小児集中治療室（PICU）に関して紹介させていただきます。集中治療科は2016年の小児救命救急センターの開設に備えて、2014年度に新設されました。小児救命救急センターの役割は、地域で急に発生した重症なお子さんに高度な急性期医療を提供することです。そのためには小児救急外来での診療以外に、他の病院で急に状態が悪くなったお子さんを安全に当センターまで運ぶ搬送チームと、重症なお子さんを治療するPICUが必要です。搬送チームは主に救急科が、PICUは集中治療科が管理しています。最近テレビドラマで、PICUという番組がやっていたので、PICUという言葉をお聞きになられたことがある方が増えたのではと想像します。PICUでは、小児集中治療医が24時間365日常駐し、PICU看護師や臨床工学士、理学療法士、薬剤師など他の職種と協力しながら治療を行っています。PICUで行われる治療は、人工呼吸器を使った呼吸補助に留まらず、持続血液透析に腎臓や肝臓の補助、体外式膜型人工肺（ECMO）による心臓や肺の補助などです。1人のお子さんに複数の臓器にまたがる問題がおこることもあり、診療チームの医師は小児集中治療医だけでなく、複数の専門診療科医師が参加することも少なくありません。また、小児集中治療医は、東海3県では当センターにしか常駐していないので、他の施設で状態が悪くなったお子さんで小児集中治療医が必要になった場合には、ドクターヘリや防災ヘリを用いて、小児集中治療医をふくめた診療応援チームの派遣を迅速に行い、状態を安定させることも最近積極的に行っています。

愛知県内の重篤なお子様にも質の高い集中治療が提供することを通じて、地域の皆様が安心して暮らせるように努力していきます。



※アチエメックとは、Aichi Children's Health and Medical Centerの略語（ACHEMEC）です。

新任医師紹介

令和7年1月1日現在

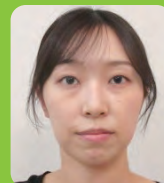
●令和6年度7月以降、新たに6名の医師を迎えました。



神谷 庸成
整形外科



太田 和樹
小児外科



田中 美緒
眼科



石津 啓介
救急科



土屋 研人
集中治療科



菅原 沙織
新生児科



看 護 部 だ よ り

21 病棟

21 病棟は 2019 年より小児心臓病センターとして、先天性心疾患の子どもから後天的に診断を受けたこどもの心臓疾患を受け入れる小児循環器内科・心臓血管外科病棟となりました。2021 年からは、小児植え込み型補助人工心臓管理施設として、心臓移植待機患者様の診療も始まっています。入院するお子様は、生後間もない赤ちゃんから中学生、高校生にいたるまであらゆる世代の方がいらっしゃいます。

私たちは日夜複雑な病状を克服しようとしている子どもと家族への支援ができるようスキルを磨く一方で、人と人の和を大切に、子ども達やご家族の気持ちを尊重して関わることを心がけ看護を実践しています。各分野のエキスパートが集まりより専門的な治療を行うだけでなく、保育士や心理士らとも協働し入院中でも子ども達の笑顔を絶やさないよう努めています。また、退院後の生活も見据え多くの職種と連携し、子どもとご家族がご自身の街で暮らしていくための支援を行っています。

これからも病棟入り口にある「森の木のおじいさん」のように、心が温かくチームワークのとれた病棟を目指していきたいと思えます。



病棟プレイルーム



病棟出入口



私たちも活躍しています

スタッフ紹介

リハビリテーション科では、新生児期の哺乳から学童期の摂食嚥下まで、子どもの「食べること」に関するさまざまなニーズに対応しています。主に入院中のお子さんを対象とし、主治医の指示のもとで評価や指導、訓練を行っています。

心臓の病気等により生まれつき体の小さいお子さんでは、飲む力が弱く哺乳に時間がかかってしまう、飲むタイミングが合わず溺れてしまうというような場合があり、適切な乳首の選定やとろみの添加などを提案しています。離乳食がなかなか進まないというお子さんには、口の機能にあった食事形態を紹介し、舌トレーニングに効果的な食材の提案を

言語聴覚士(摂食嚥下)

行います。食べたり飲んだりすることは、座る姿勢や手の使い方などの身体(からだ)の機能にも関わってくるため、科内の理学療法士、作業療法士と協同で診療にあたります。あわせて、ミルクや食事の摂取量やカロリーが適正量かどうかも重要なので、管理栄養士とも協力しています。

摂食嚥下指導で最も問題になるのは誤嚥の有無ですが、当センターでは嚥下造影検査(VF)も必要に応じて実施しています。子どもの「食べること」に関する相談は様々ですが、ひとりひとりに添った最善の提案ができるよう今後も頑張っていきます。



摂食嚥下指導で使う乳首やスプーンなど(ごく一部)



医療連携室

(患者様をご紹介いただく医療機関の皆様へ)

当センターの医療連携室は、地域の医療機関の皆様との円滑な連携に努め、患者様に専門的な医療を提供しております。

ご利用には「登録医としての登録」と登録医からの「診療申込み」が必要となります。当センターの医療連携室を是非ご活用ください。

TEL.0562-43-0508 FAX.0562-43-0510
URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/>

受付 月曜日～金曜日

時間 9:00～17:00

祝日、年末年始を除く。



外来診療のご案内

- 外来受付は、A～Dのブロックごとの受け付けになりました。
- 再診の際は、再来機受け付け後、グリーンファイルを各自で取り、診察へお進みください。
- 詳細については、ホームページ等でお確かめください。
- 当センターの受診は、紹介予約制です。お電話にてご予約ください。

予約電話番号 **0562-43-0509** ファクシミリ **0562-43-0510** (9:00～17:00まで)

◆診療時間
午前9時から正午まで / 午後1時から午後4時まで

◆休診日
土曜日・日曜日・祝日・年末年始

あいち小児保健医療総合センター

〒474-8710 大府市森岡町七丁目426番地
TEL (0562) 43-0500 FAX (0562) 43-0513
URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/index.html>

